

# 《つむぎ合い講座部会メンバー》

6 安全な水とトイレを世界中に



毎日、命をつなげるに大切な水、明日、飲むことができなくなったらどうしようか？

自然災害で断水となるニュース、安全な飲み水がなくて、命を落としてしまう子どもたち、飲み水を汲みに毎日2時間、学校にいけない子どもたち、水道水として、安全に飲める国は世界で何か国でしょうか？意外と少ないですよ。9か国(第1位:アイスランド、第2位:オーストラリア、日本は3位)と2都市だけなんだって。世界中の友達が、安心して口に水を、衛生的なトイレを確保するために、私たちは、かけがえの無いこの地球で何を始めたら良いのでしょうか？考えてみましょう。トイレにまつわるエピソードを詠んだ第18回「トイレ川柳」今年の応募総数は3万2,755句。嬉しい賞に「子の後の 綺麗なトイレ 知る成長」まずは身近なトイレをきれいに使うことからかな。



つむぎ合い講座部会 部会長 田村 義明

14 海の豊かさを守ろう



私が初めて海を見たのは、小学校6年生の時でした。ずいぶん昔のことですが、当時永明小学校の修学旅行は静岡県の清水市(アニメちびまる子ちゃんが住んでいる所)の三保の松原でした。初めて見た海の大きさと、美しさにみんなびっくり、水平線の向こうにはいろいろな国があることを想像しました。

三保の松原は富士山世界文化遺産に関連する場所として、世界中から注目され、今も昔と変わらない美しさを守っています。

地球は水惑星と呼ばれ、約70%は海で覆われています。すべての生物は海から誕生し進化を遂げてきました、海の豊富な資源の恵みによって、私たちの生活は豊かに、便利になってきました。

その反面、地球の温暖化による異常気象や、海洋汚染など環境破壊が進み、海洋生物の生態系の変化や、今まで経験したことのない大型台風が発生し、生活への脅威となっています。

私たち一人一人が、環境問題に関心をもって、豊かできれいな海を取り戻し、安心安全な生活環境を持続させるために「できることを考えて実行」しましょう。

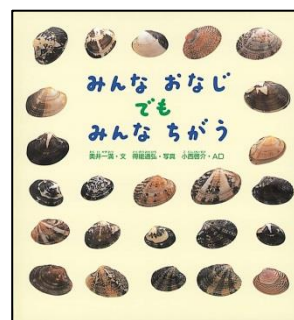
つむぎ合い講座部会 五味 功

5 ジェンダー平等を実現しよう



ジェンダー平等とは、「ひとりひとりの人間が、性別にかかわらず、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めることができること」とされています。

かつて読んでもらったり、自分で読んでいた『みんなおなじでもみんなちがう』にも通じますが、人類が互いに「違うこと」を認め合う社会になるためには「みんなちがうでもみんなおなじ」という考えを持ち、差別をしない、させないことを進めることこそが、ジェンダー平等につながっていくと思います。



つむぎ合い講座部会 百瀬 一郎

# つむぎ合い講座通信

『SDGsを学び、考え、実践』

第8号

2022年11月22日発行  
編集：つむぎ合い講座部会



## SDGs特別号

前回のアンケート結果をもとに、児童および保護者・関係者の皆様からのメッセージをご紹介します。

### 《児童アンケート ベスト3》

#### 大すきな海と魚をまもりたい

2年1部 春山 颯羽

ぼくは、海と海の生きものが大すきです。

今までに、数え切れないくらい、いろいろな海と水ぞくかんに行きました。ある水ぞくかんで心ばいになってしまったてんじがありました。『海をしらべて、海を知ろう！わたしたちがすべきこと』というてんじコーナーです。

そこには、魚の体内から出てきた、大りょうの、マイクロプラスチックや、ゴミにからまったまましんでしまった生きものたちのしゃしんがたくさんありました。人間のせいで、海をよごしたり、魚をくるしめたりすることをやめたいです。

魚たちにあやまりたいです。

ぼくたちに、できることは何だろう。海にゴミをすてない。プラスチックをへらすために、ペットボトルよりも水とうをつかうことなど、みんなが自分にできることを考えてやってみると、海と魚がよるこぶと思いました。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS







## 世界の人々に安全な水を

4年3部 木村 麻里子

私たちは昨年度からSDGsの活動をしています。最初はSDGsについて何もわかりませんでした。けれど勉強していくうちにわかってきました。

私がSDGsの17の目標の中でも一番きょう味をもったのは、目標6の「安全な水とトイレを世界中に」です。

私は最初に、その目標を少しでも達成しようとして、何ができるかを考えました。そして、まず節水から始めようと思いました。家のお風呂ではシャワーを出しっ放しにしないことや、朝起きて顔を洗うときには水をおけにためてあらうようにすることをしています。お風呂の残り湯をせたく物に使うこともしています。

他には何かできないか、インターネットで調べてみました。すると、きふができることがわかりました。さらに調べていくと、世界では安全な水が飲めずに、子どものうちに死んでしまうという事実があることがわかって、おどろきました。

私は将来、世界の人々を安全な水で救える人になりたいと思いました。



## ジェンダー平等をめざそう

5年1部 矢崎 萌々

私は合唱団に入っています。

人数のほとんどが女の子です。男の子も五、六人います。歌は女の子、スポーツは男の子というイメージがあるのか、男の子は少ないです。性別のイメージでやりたいことを決めつけてはいけないとわかっているけど、私も合唱団に女の子が多いことを当たり前に思っていました。

図書館で「ジェンダー平等をめざそう」という本を読んだとき、女の子が男の子の制服を着ている写真がのっていました。その学校は自由に制服を決めることができるそうです。

私はスカートが好きではないので、性別のイメージに関係なく、好きな制服を選んで、とてもいいと思いました。男らしさ、女らしさを決めつけない取り組みがこれからどんどんふえるといいなと思います。

そして、私も男女関係なく遊びにさそったり仲良くしたりしたいです。



## 《保護者アンケート ベスト1》



## 気候変動について思うところ

～この子たちを安全安心な世界に～

永明小学校PTA会長 浜 健一

気候変動に対して思いつく事は、近年はゲリラ豪雨・大型台風・猛暑という異常気象が非常に多くなり、この要因には地球温暖化が世界的に大きな問題と捉えられている。

ここ最近よく耳にするSDGs（国際目標）13番の目標【気候変動に具体的な対策】が掲げられているが、具体的にどのような事をしなくてはならないのだろうか？地球温暖化の主な要因の1つには、二酸化炭素の排出量が多い点が挙げられる。

その二酸化炭素の排出を少なくする為、自分達ができる事は【エコ行動】となる。

具体的には、無駄な電気を使用しない。近場では車を使用しない。食べ残しをしない。無駄なゴミを出さない等の行動を心がけることで、二酸化炭素の排出を抑える事が出来る。

このような些細な行動の積み重ねを大人達が模範となるよう率先して取り組む事で、将来の子供達に地球資源・環境の存続に繋がる事を願っている。



## 気候変動に具体的な対策を

永明小学校PTA副会長 宮坂 敦

スマホを代表とするネット社会、交通網の発展など、私の子供のころからは考えられないほど便利な世界が広がっています。その反面、エネルギー消費や都市化の弊害などと思われる気候変動が起きています。

このままでは将来、自然災害によって住みにくい世界になってしまうのではないかと心配です。

今生きている私たちは地球という借家に暮らしているに過ぎません。未来により便利で住みやすい世界を残す義務があります。

これからの世界を作る子供たちと一緒に今できることを一緒に考えて実行していきたいと思います。まずは無駄な電気を消すことから。

